



# 議会だより



空手の部



四半的の部



柔道の部



弓道の部



剣道の部

## 第22回 神武の里総合武道大会

- 議長・副議長あいさつ、議会構成・・・・・・・・・・ P 2
- 平成23年度高原町一般会計予算・・・・・・・・・・ P 3
- 総括質疑・・・・・・・・・・ P 4～P 5
- 第1回臨時議会・・・・・・・・・・ P 6
- 審議結果報告・・・・・・・・・・ P 7
- 東北大震災関連記事、編集後記・・・・・・・・ P 8～P 10

■発行/高原町議会  
 ■編集/議会だより編集委員会  
 ☎889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地 ☎(0984)42-2111  
 ■発行日 平成23年6月1日



the most beautiful  
villages  
in japan

議長・副議長あいさつ



議長 森山 勇

この度、議長に就任致しました森山 勇でございます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。まずは、東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたすとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

新燃岳噴火も東日本大震災も同じ自然災害で比較にはなりません。本町における新燃岳噴火による被害も、農業の町であり、畜産の町である本町の農家の方々に多大な被害をもたらしました。

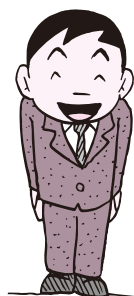
ほうれん草、家畜の飼料作物、シイタケ栽培など壊滅的な打撃を受けています。農業・畜産はもとより、商業・工業・林業・観光にも多大な影響を与えています。

早い復旧を望みますが自然災害ですので、噴火がいつまで続くか分かりません。早期の終息を願うばかりです。

そして早く私たちが立ち直り、先ずは高原町民の方々が元氣を取り戻し、高原町全体が明るく、元氣になって、そして東日本大震災の被災者の方々に対し、精一杯の応援・お手伝いをしたいものです。

山積する課題の中、先ずは新燃岳噴火からの復旧・復興が一番です。町民の皆さんのご指導・鞭撻を賜り、今後ともよろしくお願い申し上げます。

よろしくお願いいたします



副議長 清水 公雄

新緑の候 ますますご清祥のこととお慶びを申し上げます。私五月二日、初議会におきまして、副議長を拝命を致しました。町民の皆様は大変お世話になりました。誠にありがとうございます。

昨年本県においては口蹄疫の発生と、本年一月鳥インフルエンザさらには、新燃岳が爆発的噴火を繰り返して未曾有の被害をもたらしました。三月十一日三陸沖を震源とする東日本大地震が発生し、死者行方不明者を合わせると二万八〇〇〇人といわれる巨大地震は原発を巻き込んだ原発震災となり日本全国世界に経済的な二次被害をもたらしています。「がんばろう、日本！」を合い言葉に災害対策、復興に国民と心をひとつにして、この困難ともいえる災害からの復興を願うばかりです。

本町におきましても町民生活や経済活動これらの町が抱える諸問題に積極的に取り組み農業、工業、観光、商店街の振興を基本に豊かで住み良い郷土づくりに頑張っておりたいと思っております。最後になりましたが町民の皆様の御健勝と御多幸を御祈念申し上げます、就任のごあいさつと致します。

新高原町の  
議会構成



総務経済常任委員会

- 委員長 宮司 勲
- 副委員長 入佐 廣登
- 委員 温谷 文雄
- 委員 前原 淳一
- 委員 森山 勇

文教厚生常任委員会

- 委員長 北迫 泉
- 副委員長 中村 昇
- 委員 松元 茂春
- 委員 鹿嶋 重明
- 委員 清水 公雄

議会運営委員会

- 委員長 宮司 勲
- 副委員長 北迫 泉
- 委員 入佐 廣登
- 委員 中村 昇

議会だより編集委員会

- 委員長 温谷 文雄
- 副委員長 鹿嶋 重明
- 委員 前原 淳一
- 委員 北迫 泉

西諸広域行政事務組合

- 議員 温谷 文雄
- 議員 前原 淳一

小林野尻・高原衛生  
事業事務組合

- 議員 鹿嶋 重明
- 議員 入佐 廣登
- 議員 中村 昇

霧島美化センター  
事務組合

- 議員 松元 茂春
- 議員 北迫 泉
- 議員 入佐 廣登

国保運営委員

- 議員 北迫 泉
- 議員 中村 昇
- 議員 清水 公雄

都市計画審議会委員

- 委員 温谷 文雄
- 委員 宮司 勲
- 委員 前原 淳一
- 委員 入佐 廣登

土地開発公社理事

- 委員 松元 茂春
- 委員 宮司 勲
- 委員 前原 淳一
- 委員 清水 公雄

観光協会理事

- 理事 温谷 文雄
- 理事 宮司 勲
- 理事 入佐 廣登

高原町監査委員

- 委員 入佐 廣登

西諸広域行政事務組合  
監査委員

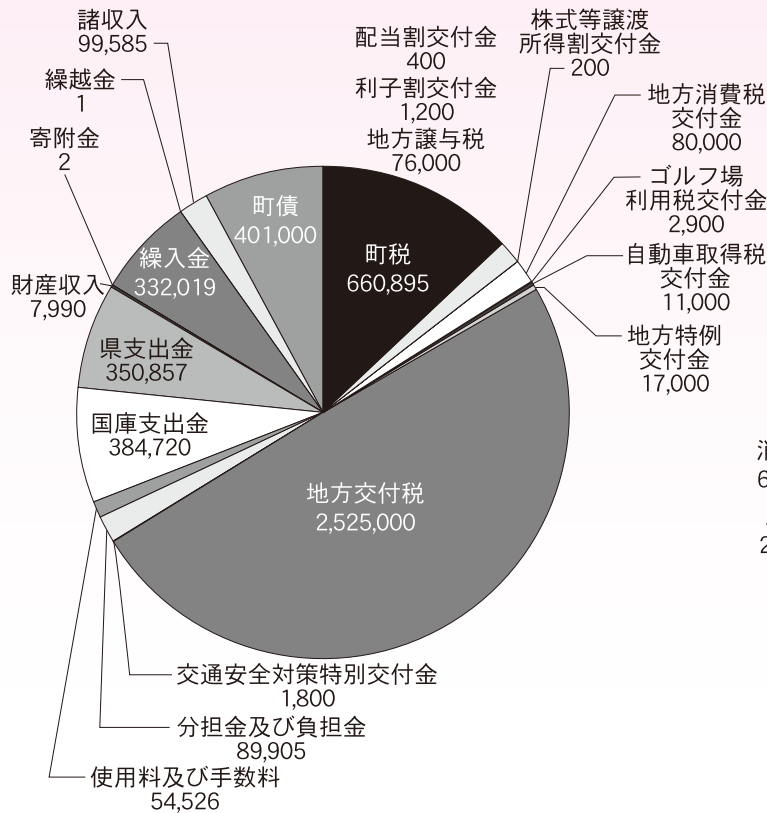
- 委員 宮司 勲



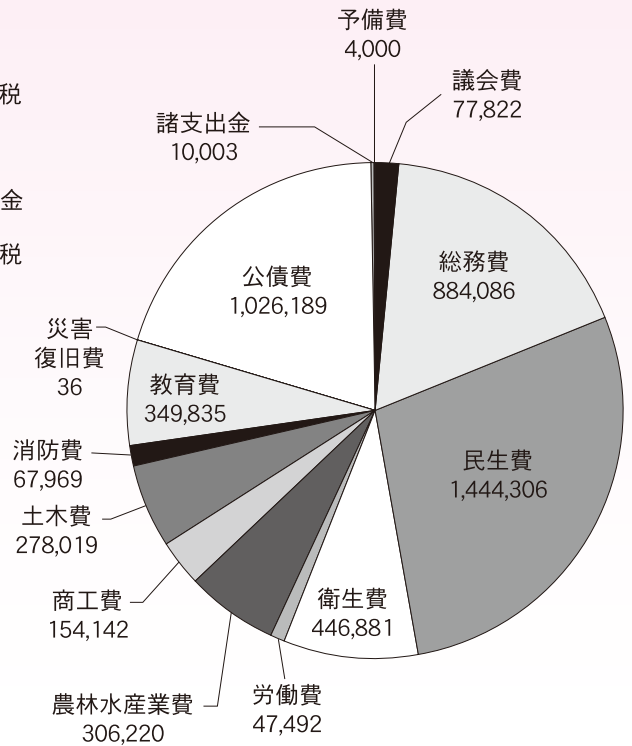
# 平成23年度 一般会計予算

# 50億9,700万円

## 歳入



## 歳出



(単位：千円)

会計名	平成23年度当初予算(A)	平成22年度当初予算(B)	増減額(A)-(B)	前年対比(増減率%)	
一般会計	5,097,000	4,830,000	267,000	5.5	
特別会計	国民健康保険特別会計	1,697,254	1,716,857	△19,603	△1.1
	老人保健特別会計	0	131	△131	△100.0
	介護保険事業特別会計	1,054,631	886,507	168,124	19.0
	農業集落排水事業特別会計	20,381	20,439	△58	△0.3
	簡易水道特別会計	0	148,871	△148,871	△100.0
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	3,784	2,589	1,195	46.2
	公共用地取得事業特別会計	12,680	12,830	△150	△1.2
	後期高齢者医療特別会計	275,001	273,706	1,295	0.5
企業会計	病院事業会計(収益的收入)	998,385	985,478	12,907	1.3
	水道事業会計(収益的收入)	184,634	178,697	5,937	3.3
	工業用水道事業会計(資本的收入)	2,364	2,377	△13	△0.5

# 総括質疑

○平成二十三年度

高原町一般会計予算



盛永 友二議員

(問) 霧島登山マラソン大会の参加者は。

(答) 参加者五二二人で完走が四三四人です。

(問) 乗合タクシーの利用状況は。

(答) 後川内線、一日当たり二・七人、小久保線、一日当たり一・六人の利用です。

(問) 農業者年金の加入者は。

(答) 受給者は、五三一名、加入者は二五三名です。

(問) 緊急通報機器貸与事業とは。

(答) 在宅のひとり暮らしの高齢者や身体障害者の方々が病気等で危険な時に連絡がとれるシステムで五一台

を貸与している。

(問) 学校給食での小清水米の消費量は。

(答) 年間一人当たり約十一キロの消費です。



霧島登山マラソン

座の考えは。

(答) 学校区単位で夜に町政座談会等を行いたい。

(問) 美しい村づくり推進事業支援補助金交付事業の実績は。

(答) 二十二年度は八団体、七三万円です。

(問) 宮崎フリーウェイ工業団地企業立地促進補助金がどういう形で予算計上されているか。

(答) 上水道使用料助成金が一、一九一十円。用地取得補助金が九百五十万円を計上しています。

(問) 指導主事配置事業の考え方は。

(答) 今回、学習指導要綱が小学校及び中学校とも変更になりましたので学校教育の指導体制を充実する為に配置しました。

(問) 高原小学校給食調理の民間委託は。

(答) 高原小中学校で六四〇食、後川内小中学校で百一〇食、広原小学校で九〇食、

狭野小学校で七〇食を調理している。



株式会社コムテック (宮崎フリーウェイ工業団地)

(問) 地デジ難民をつくらない対応は。

(答) チラシの設置や民生児童委員によるPRを行っている。

(問) 酪農・繁殖・肥育にかかわる価格安定基金制度は。

(答) 最低補償基準の価格変更はないので従前の形の運用が確保できると考えている。

(問) 農地制度実施円滑事業補助金の削減の影響は。

(答) 県や関係機関と連携をとり、農家が円滑に回るように指導したい。

(問) 学校給食を民間委託した場合の献立、食材の購入は。

(答) 献立は、学校の栄養教諭がつくる。食材は、学校給食運営委員会で発注・購入する。

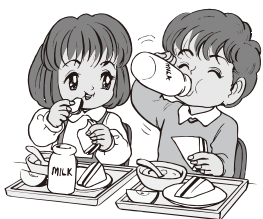


宮司 勲議員

(問) ふれあい座談会出前講

(問) 高齢者・交通弱者の足の確保は。

(答) 代替バス・乗り合いタクシー・全体的に検討する必要がある。





清水 公雄議員

(問) 畑かんの今後の進め方は。

(答) 鹿児島地区を第一期エリアとして進めています。

(問) 地域ブランド商品販路拡大事業とは。

(答) 高原町を中心とした県内の地場食材を活用した地域ブランド商品の開発と販路拡大をお願いしている。

(問) 総人件費の改革の考えは。

(答) 行財政改革を進める中で、課の統廃合あるいは民間委託により人件費の削減に努める。

○平成二十三年  
度 高原町国民健康保険  
特別会計予算

中村 昇議員

(問) 保険税が高く滞納が増

えている。繰越金を基金積み立てに回すより、引き下げ、あるいは据え置きにするくらいの対応が必要ではないか。

(答) 国保の基金九千四百四十万円のうち三千八百五十九万円を取り崩す予定だ。一般会計からの繰越は口蹄疫による住民税の落ち込み、新燃岳の火山活動の状況等を勘案すると一般会計からの繰入は厳しいと考える。



森山 勇議員

(問) 保険税を引き下げるのは医療費の抑制が必要だが、どのような方法が考えられるか。

(答) 高原町の一人当たりの医療費は県内で上位にある。特定健康診査の受診率を少しでも上げ、医療費が下がるよう対策を講じていくこ

とを考えている。

(問) 訪問医療が早期発見、早期治療に功を奏したと聞いたことがある。医師確保に苦慮する中、可能なのか。

(答) 町立病院では週三回(医師一人、看護師三人)訪問診療を実施して医療費抑制に寄与している。

○平成二十三年  
度 高原町水道事業会計予算

宮司 勲議員

(問) 浄水施設整備事業の広原、祓川湯之元地区の事業費三億六、八九五万円は全体計画の中で、祓川湯之元が二億三、四五〇万円、広原が一億三、一四五万円の事業内容となっているのか。

(答) 二十三年度は、そのような計画をしている。

(問) 祓川湯之元の配水管布設工事が二十四、二十五年で完了すれば水圧等の問題は解消するか。

(答) 管の布設替えが完了す

れば水圧不足は解消する。

(問) 二十六年度を最後に上水道に統合されるが、皇子地区のような飲料水施設の対策を今後どういう形で進めていくのかきちんと整理

しておかないと行政の対応として問題が残るのではないか。

(答) 簡易飲料供給施設については、町民福祉課と協議検討する必要がある。



新・議会だより編集委員会です。よろしくお願いします。



# 臨時 議会

## 平成23年 第1回 臨時会 平成23年2月8日(火曜日)

### 審議結果

- 承認第1号 専決処分について 平成22年度高原町一般会計補正予算(第12号) . . . . . 承認
- 承認第2号 専決処分について 平成22年度高原町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) . 承認
- 議案第1号 高原町住民生活に光をそそぐ交付金基金条例 . . . . . 可決
- 議案第2号 課設置条例の一部を改正する条例 . . . . . 可決
- 議案第3号 高原町個人情報保護条例の一部を改正する条例 . . . . . 可決
- 議案第4号 高原町工業用水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 . . . . . 可決
- 議案第5号 高原町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 . . . . . 可決
- 議案第6号 平成22年度高原町一般会計補正予算(第13号) . . . . . 可決
- 陳情第6号 後期高齢者医療制度廃止の意見書提出を求める陳情書 . . . . . 採択
- 発議第1号 新燃岳噴火による災害支援に関する意見書(案) . . . . . 可決
- 発議第2号 後期高齢者医療制度を速やかに廃止し、真に安心できる医療制度確立のため  
国庫負担の大幅増を求める意見書(案) . . . . . 可決
- 陳情第1号 永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情書 . . 継続審査

## 平成23年 第3回 臨時会 平成23年5月2日(月曜日)

### 審議結果

- 報告第2号 平成23年度高原町土地開発公社予算について . . . . . 報告
- 承認第4号 専決処分について 高原町国民健康保険条例の一部を改正する条例 . . . . . 承認
- 承認第5号 専決処分について 国民健康保険税条例の一部を改正する条例 . . . . . 承認
- 承認第6号 専決処分について 平成22年度高原町一般会計補正予算(第17号) . . . . . 承認
- 承認第7号 専決処分について 平成22年度高原町介護保険事業特別会計補正予算(第4号) . . . 承認
- 承認第8号 専決処分について 平成22年度高原町簡易水道特別会計補正予算(第1号) . . . . . 承認
- 承認第9号 専決処分について 平成22年度高原町一般会計補正予算(第1号) . . . . . 承認
- 同意第2号 監査委員の選任について . . . . . 同意

# 第2回 定例会審議結果

平成23年 3/2(水)～3/17(木)

議案番号	件名	議決結果
報告第1号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	—
同意第1号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意
承認第3号	専決処分について 平成22年度高原町一般会計補正予算(第14号)	承認
議案第7号	指定管理者の指定について	可決
議案第8号	指定管理者の指定について	可決
議案第9号	指定管理者の指定について	可決
議案第10号	平成22年度高原町一般会計補正予算(第15号)	可決
議案第11号	平成22年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第12号	平成22年度高原町老人保健特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第13号	平成22年度高原町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第14号	平成22年度高原町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第15号	平成22年度高原町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第16号	平成22年度高原町水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第17号	平成22年度高原町病院事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第18号	町道の認定について	可決
議案第19号	分担金を徴収すべき事業について	可決
議案第20号	高原町簡易水道特別会計条例等を廃止する条例	可決
議案第21号	平成23年度高原町一般会計予算	可決
議案第22号	平成23年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決
議案第23号	平成23年度高原町農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第24号	平成23年度高原町国民健康保険特別会計予算	可決
議案第25号	平成23年度高原町介護保険事業特別会計予算	可決
議案第26号	平成23年度高原町公共用地取得事業特別会計予算	可決
議案第27号	平成23年度高原町後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第28号	平成23年度高原町水道事業会計予算	可決
議案第29号	平成23年度高原町病院事業会計予算	可決
議案第30号	平成23年度高原町工業用水道事業会計予算	可決
議案第31号	高原町新燃岳噴火災害復興基金条例	可決
議案第32号	平成22年度高原町一般会計補正予算(第16号)	可決
発議第3号	高原町議会委員条例の一部を改正する条例	可決
発議第4号	高病原性鳥インフルエンザ対策に関する意見書(案)	可決

# がんばろう日本!!

## ボランティアカットに 行っの被災地の 現状について



上麓区  
酒匂 和彦 (理容師)

4月16日(土曜日)夜9時高原の家から車で、宮城県の石巻に向かいました。目的は、被災者の髪を切らせて頂くため自分の受けた恩を返すために1カ月半考えた末、行くことを決めました。

4月の18日(月曜日)昼過ぎに宮城県石巻市に入り市役所を探すついでに市内の川沿いを走りました。地震と津波の形跡が至る所に見受けられ夕方5時前に石巻市役所を見つけて中に入ると一階は津波で、荒らされてとても使える状態で無く、二階にすべての受付を集めていました。登録時間を過ぎていたのですが、職員のはからいで当日のうちに登録でき翌日の行く場所も探してくれました。

4月19日(火曜日)になりボランティアセンターから、渡波(わたのは)公民館に向かい途中で被災地に向かうボランティアや信号機の機能停止や道路の破損などの理由で渋滞が発生していました。渡波公民館は、避難者は8名でしたが、自宅の二階で生活している方が殆どで、配給を受け取りに来る生活です。そこで14名の散髪を行い、水や燃料が貴重なためカットのみさせて頂きました。そこに小学生の兄弟がいて下の小学校二年生の男の子が、その日降った風雨の音に「津波なの？」と怯える顔を、そして家から持って来たコーラとお菓子を渡した時のあの笑顔も目の奥に焼き付いています。

翌日からはボランティアセンターの方から紹介された、整体師と理美容師の団体に加わり石巻市内や南三陸町や雄勝と云う港町に組織的に支援をすることになりました。南三陸町と雄勝方面は、道の標識に津波浸水予想線があったが、遥上の方まで津波の痕跡を残しており津波の大きさを思い知らされました。避難者の方から聞いた話では、地震の日、タンクローリー一杯のガソリンと灯油の二台を高台に移動させ自分の車も移動させたそうですが、後に残ったのは、灯油の一台だけ、そしてその灯油で厳しい氷点下の寒さを、広い避難所で、家庭用のストーブたった八つでみんな身を寄せ合い凌いだそうです。

「もしガソリンの方が残っていたらみんな死んでいた。」の言葉に背筋が凍る思いをしました。

石巻市内の蛇田中学校の避難所では、班長さんが「学校が、始まるから僕達は出て行った方が良いのか、ゴネた方が良いのか？」の言葉に「他に行くところもないのに何処に行くんですか？決まるまでは主張するべきで、けっしてゴネでは無いですよ。」と言いましたが、その言葉にショックを受けました。そこの代表の方は、22歳で代表をしていましたが、1カ月経っても1回も家に帰れて無いそうです。

最後の日、4月24日(日曜日)は雄勝と云う港町に行きましたが、役所の女性の職員さんが、「役所の三階建の屋上まで津波が来てしみが付いて、何とか助かった。」「避難訓練は細かく毎年やっていた。」「ただそれは、全員生きている想定で、実際は、上司の行方が分からず役所の機能は、ほとんど果たせなかった。」と振り返って語ってくれました。

宮崎への帰路に発ったのは、その雄勝の港町を終え最後の報告をして石巻の地を後にしました。予定を2日伸ばし活動してカット出来た人数は、百数十人位しか散髪出来ませんでした。みなさんが、「有り難う」と言ってくれ、「復興したらまた来てくださいね。」の言葉をもらい「少しは役に立てたのだろうか？」「少しは普通の生活を思い出してもらえたのか？」「少しは全国から受けた恩を返せたのだろうか？」そして、「行って良かった。」と思います。



# 災 害 復 興

## 福島原発 20 Km圏内の 動物保護の ボランティアへ



下広原区 さくもと  
山下 香織 (ドッグラン咲桃虎)

4月上旬と下旬にそれぞれ一週間と短い期間でしたが福島原発20km圏内に残された動物の保護と保護された犬猫のお世話をするボランティアへ行ってきました。

高原町は新燃岳噴火で避難しなければならない時期がありました。その時に牛を移動させたりと素早い対応もありましたが犬や猫といったペットへの対応はありませんでした。『避難しなければいけないが動物がいるから避難できない』という方からの話を職業柄沢山聞きました。有難い事に今、新燃岳は落ち着いております。ですがいつまた大噴火するかわからない状態ですので明日はわが身と感じ動物の保護の経験をしておかなければならない！皆が安心して避難出来るように今度は自分が動かなければならない！という思いでボランティアに行きました。

私がお手伝いさせて頂いたのは(財)UKC JAPANという団体が震災が起こってから素早い行動力で動物の保護に乗り出しており行政にもきちんと話を通したりと筋を通している団体です。ボランティアする人はそれぞれ目的は同じですが筋を通さずにそれぞれが勝手に動いてしまうことで問題も生じてきます。そうすると動きたくても動けなくなってしまう。ということを身を持って感じました！そして現地へ保護に行くときまだ必死に生きていてくれた子もいれば衰弱してしまいぎりぎりの命の子残念ながらも息絶えている子・と凝視するのは辛い場面もありました。でも泣いてなんかいませんでした。そうしてしまったのは人間なんです！怒りと悔しさとまだ間に合う命を救うのに必死でした。動物を飼っている方へお願いします！迷子札を付けてください。迷子札は絶対必要です！

今回私が保護に向かった地域は高原町に似ている地域で飼われている犬猫の種類や飼い方も似ています。そしてほとんどの犬猫が迷子札は付いていませんでした！だから放浪していた犬猫を保護できても飼い主が分かりません！もちろん連絡もとれません！つながっている犬でも取り残されている猫でも連絡先さえ分かれば何とかしてあげられます。だからどうか迷子札(狂犬病接種済みの札でも首輪に直接書いても良い。)を付けてあげてください。そして不幸な命を生み出さないために避妊・去勢手術をしてあげてください！

(避妊・去勢手術にはメリットもデメリットもありますので詳しくは獣医師に相談してください。)そして一番お願いしたいのは番犬・番猫ではなく家族の一員として1つの命として飼ってください。今動物は人間がいないと水さえ飲めません。繋がれていればなおさら何も出来ません。死があるのみです。そんな姿がTVで映し出されるようになった頃祖母が私に『牛を一頭でも引っ張っておいでっ！』と言ってくれました。『今まで牛達のお陰で食べさせてもらってたんだし口蹄疫の次は餓死ではあまりにも無残すぎる・・・』祖母から直接このような言葉をきけて本当にうれしかった！私は大動物の保護は出来ませんでしたが牛が放れて自由に動いていました。その姿をみて『これが自然なんだ！この自然を崩している人間が動物のおかげで生きていられる人間がお世話になっている動物を餓死という苦しく寂しい死に方をさせたらいけないんだ！』と心から感じると共に今のこの自由な時間を出来るだけ長く楽しんで欲しいと願いました。

私のこの経験でこれからの怒りうる事態に完璧に対応できるとは思いません！でもこの話を読んで頂いた皆さん各々が少しでも考えて行動して協力し合ったら絶対不幸な命は減ります！そして知らない人には伝えてください！動物なんてと言われる方もおられますが、誰かが助けなければ！行政と皆で助け合わなければ！自分が見殺しにしてしまったと後悔され心が病んでしまわれる方もおられます。動物は時には人が生きる希望にも成りうるんです。

まだまだ被災地では厳しい状況が続いてますので継続して私も支援していきます。今回私がボランティアに行くにあたり家族に心配や迷惑をかけました。そして私の周りの皆様の協力があり行動に移せる事が出来ました。本当に感謝しております。ありがとうございました！

# 一日も早い復興を・・・

このたびの東北地方太平洋沖地震により被害を受けられたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

1日も早い復旧とみなさまのご健康を心よりお祈り申し上げます。

## 被災地福島県いわき市より

3月11日に発生した大地震、津波、それに原発事故。次々と天災・人災が起きました。人伝えに聞いたところ（現場に行っていないので）沿岸地域はととてもとても口では言い表せないほど酷い状態だったということです。

そして、4月11日以降に発生した震度6弱の地震。何回もある余震とても不安でした。それでも最近は余震の発生回数も少なく、若干ではありますが安心しているところです。しかし、原発事故による放射能被害・・・県外に出かけると入店を断られたり、車には悪戯されたり、とても悲しい事が起きているそうです。このような嫌がらせを受けることがあるので、県外への場合はバスや電車等の公共交通機関を利用する人も多数いると聞きました。

同じ日本国民なのに・・・なぜ・・・  
こんなにも悲しい事が起きるのでしょうか？ これも風評被害なのでしょうか？ とても残念に思えてなりません。

幸いなことに私の住んでいる「いわき市」は放射線量も低く（0.23～0.26 $\mu$ sv/h）他の地域から避難して来ている方々もいらっしやいます。テレビのニュースでは被害が酷いところや放射能に関する話題をセンセーショナルに取り上げているだけです。風評被害の大きな原因は政府からの発表を大げさな言い回しで報道しているマスメディアだと思えて仕方ありません。

原発の立地県に住んでいる私達は1日も早く原発事故が終息してくれる事を願うばかりであります。



福島県いわき市在住  
田原 三美  
(高原町並木区出身)



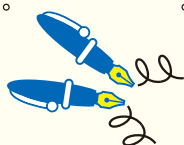
## 編集後記

同じ日本国民なのに・・・

本町出身の田原さんの送稿を読み、憤りをおぼえます。地震や津波で被災し、更に原発で逃げ場もない人達に追い打ちをかける日本人。

今回の震災で、外国のメディアは高潔な日本人と讃えました。それは、外国の震災等では、被災した人民が略奪に走ったり、暴徒化したたりする行為をテレビで観ます。今回もただ悲しみに堪え、避難される姿に悲痛な想いがしました。

一方では、本町からも、全国からもボランティアの方たちが、被災地に赴かれました。私たち多くの町民は遠く離れた被災地に容易に行くことも出来ません。復旧の目途が立たない中ではありますが一日でも早い終息が待たれます。



温谷 文雄